



左が旧川, 右が新川で水辺から樹林帯まで連続する自然環境の保全が図られている



水際は植生により安定した生物の生息空間に



子供たちも遊びながら自然の生態系とふれあうことができる

DATA・BOARD ⑬

- ①神奈川県横浜市栄区上郷町
- ②面積：約10,000㎡
- ③JR根岸線港南台駅からバスで稲荷森下車・徒歩1分
- ④上郷市民の森、証菩提寺



# 13 いたち川・稲荷森の水辺



横浜市栄区では、緑豊かな生活文化都市を目標に掲げ、川面に緑の映える街の実現をめざしている。

いたち川は、栄区を東西に縦断する水と緑の軸となっているが、流域は住宅地としての大規模開発により、川沿いに自然が残されるだけとなっている。このいたち川の水辺と隣接する樹林帯の稲荷森とを一体的に整備したものが「いたち川・稲荷森の水辺」である。

整備にあたっては、従来は不要となる旧川を活用し、広がりのある水辺空間を確保するとともに、旧川はできるだけ現状の形で保全し、生態系に対する急激な環境変化の抑止に努めたほか、新川の水辺も利用して多様な水辺環境の創出を図った。護岸はコンクリートで固めず、植生ロールや捨石を使用して魚類や水生生物の生息環境にも配慮し、植生が水際まで繁茂することにより護岸が安定し、多様な水辺環境が形成できるようにしている。

都市部における貴重な緑が残る稲荷森も水辺と一体的なものとして取り込むため、いたち川との間の用地を取得し、緑や生態系のつながりに配慮しており、古くからある証菩提寺との風景を一体的に演出するため、参道の延長線上に四阿を設けた。

整備後は、散策や休息の場として多くの市民に利用されており、川中で水遊びや魚取りをする子供たちの姿も見られる。